

産業競争力強化法の生産性向上設備等のうち生産ラインやオペレーションの改善に資する設備投資計画の確認申請書

平成〇年〇月〇日

経済産業大臣 名 殿

産業競争力強化法第2条第13項・経済産業省関係産業競争力強化法施行規則第5条第1項第2号の規定に基づき、下記の計画について確認を受けたいので申請します。

記

1 事業者の名称等

事業者及び代表者名	株式会社経済産業工業 代表取締役 経済太郎 印
所在地	東京都千代田区霞ヶ関1-3-1
事業内容	自動車部品製造業
中小企業者等※に該当するか否か	×

2 生産性向上設備の導入の目的

当社は、独立系の自動車部品製造業者であり、独自の鑄造技術による高性能エンジン部品が主な製品であり、主に国内の大手自動車メーカーに販売している。

昨今の円安傾向により今後自動車の輸出が増加することが見込まれることに加え、提携先を活用した独自ルートにより海外販売先の開拓も進んでいることから、今後は輸出販売を中心に受注増が予想される一方で、海外部品メーカーとの競合が激化する見込み。

既存の設備は老朽化が進んだ結果、歩留まり率が悪化しており、また、生産量に限界があることから、今般の受注拡大や競合メーカーとの競争力強化を図るため、最新の生産設備への入替えを計画している。最新のプレス機械、油圧ハンマー、フォージングロールの導入により生産ラインの刷新を行うことで、歩留り率の改善による製造原価の低減や、生産量の拡大による売上の向上を図り、当社の強みである高性能エンジン部品の国際競争力を強化することを目的とする。

3 生産性向上設備の導入を行う場所の住所

A工場：東京都練馬区〇-〇-〇

4 生産性向上設備が事業者の事業の改善に資することの説明

既存設備では、高性能エンジン部品年間生産量が9,495トンである。また歩留り率は95%に留まっている。当社はこれらの抜本的な改善を目指すため、このたび、最新のプレス機械、油圧ハンマーの導入により時間あたり生産量を年間20%向上させることで売上拡大を図るとともに、フォーシングロール導入により歩留り率を4%改善し、99%とすることを旨とする。

5 設備投資の内容

	設備の名称	型番	数量	単価 (千円)	金額 (千円)	用途	導入時期	設置場所
1	プレス機 器	PR12 3-45	1	40,000	40,000	高性能 エンジ ン製造	平成〇年 〇月稼働 予定	当社A工 場
2	油圧ハン マー	HM43 21	1	15,000	15,000	同上	同上	同上
3	フォージ ングロー ル	FR21 -2	1	45,000	45,000	同上	同上	同上
計					100,000			

6 基準への適合状況

別紙

提出資料

- (1) 定款又は登記簿謄本の写し
- (2) 事業報告書の写し
- (3) 貸借対照表（過去3年分）
- (4) 損益計算書（過去3年分）
- (5) 対象となる新規設備投資につき、既存設備の現況と設備投資後の状況を確認できる資料。例えば、導入しようとする設備が建物、建物附属設備、構築物、機械・装置、器具・備品の場合においてはその設置場所（工場や店舗のレイアウト図等で、設備導入前と導入後の変化を確認できるもの）、ソフトウェアの場合は当該ソフトウェアがシステム全体にどう組み込まれる予定であり、システム導入前と導入後の変化を確認できる図表等。
- (6) 本申請書の根拠となる資料。代表者又はそれに代わる者の押印がなされた社内で決裁された当該申請書に係る設備投資計画又はそれに代わるもの、導入する設備の見積り書、設備導入により同様の商品やサービスを生産する場合の過去の同様の商品・サービスの過去の実績（1単位当たり売上、製造・販売原価等）、売上高・営業利益が増加する場合の根拠となる資料、売上原価・販管費が減少する場合の根拠となる資料等。
- (7) 公認会計士又は税理士による確認書